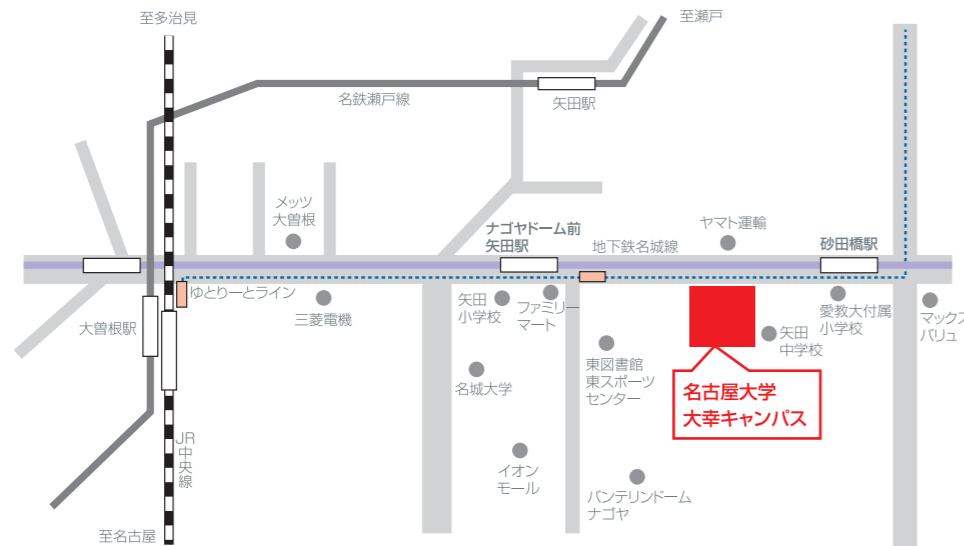
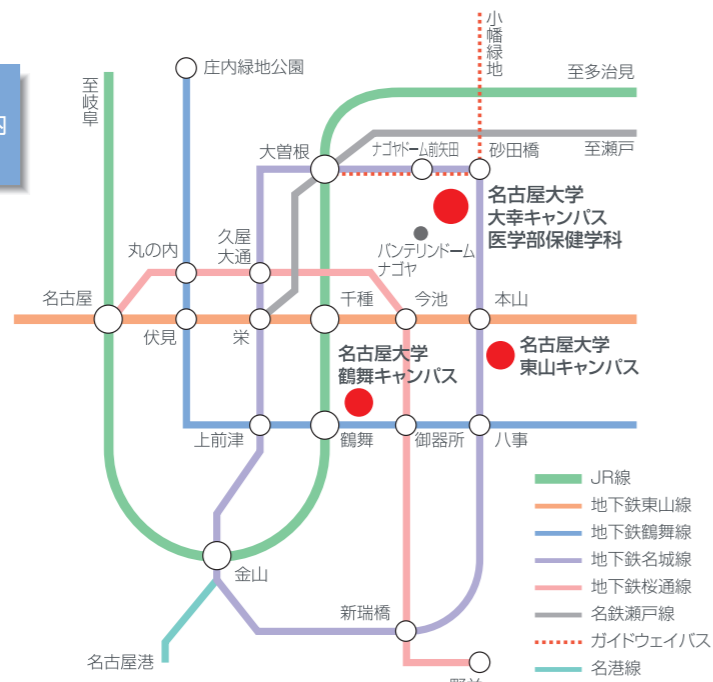


[2024年]  
名古屋大学医学部  
保健学科 案内

交通案内



医学部  
保健学科  
までの経路

- 地下鉄名城線 「ナゴヤドーム前矢田駅」下車(1番出口)徒歩10分  
「砂田橋駅」下車(1番出口)徒歩10分
- JR中央線 「大曽根駅」から徒歩20分
- JR、名鉄 「大曽根駅」から市バス  
「大幸三丁目」バス停下車、南側
- ガイドウェイバス・ゆとりとライン「ナゴヤドーム前矢田駅」下車、徒歩7分

Nagoya University  
School of Health Sciences



- Nursing
- Radiological Technology
- Medical Technology
- Physical Therapy
- Occupational Therapy



保健学への道



名古屋大学医学部保健学科

〒461-8673 名古屋市東区大幸南一丁目1-20  
TEL 052-719-1518、1521、1598(教務学生係)  
FAX 052-719-1506  
ホームページ <https://www.met.nagoya-u.ac.jp/>



# C O N T E N T S

## 目次

Campus View .....	2	● ● ●
学科長挨拶		
「次世代保健医療を担う専門職業人・研究者への道」…	4	● ● ●
教育研究組織／教育課程 .....	5	● ● ●
専攻紹介		
看護学専攻 .....	6	● ● ●
放射線技術科学専攻 .....	8	● ● ●
検査技術科学専攻 .....	10	● ● ●
理学療法学専攻 .....	12	● ● ●
作業療法学専攻 .....	14	● ● ●
Campus Life .....	16	● ● ●
募集要項 .....	17	● ● ●
卒業後の進路 .....	18	● ● ●
名古屋大学キャンパス紹介 .....	19	● ● ●

# Campus View

## 「次世代保健医療を担う専門職業人・研究者への道」

### 名古屋大学医学部保健学科を志す皆様へ



保健学科長 寶珠山 稔

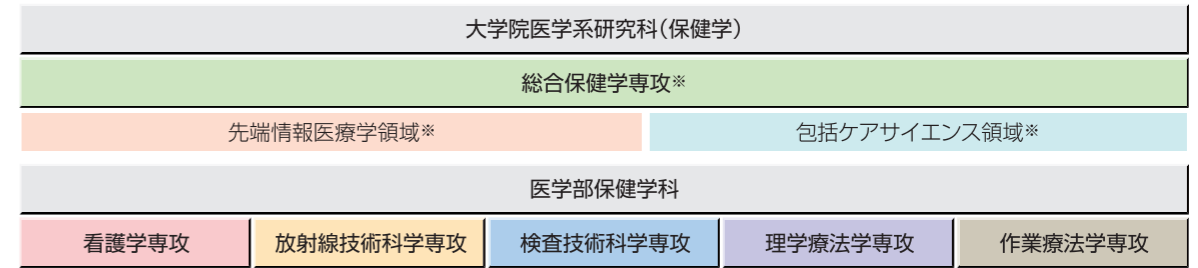
名古屋大学医学部保健学科は、平成9年10月に設置され、平成14年4月から大学院前期(修士)課程を、平成16年4月から大学院後期(博士)課程を有する基幹大学として、21世紀の医学・医療を支える高度医療専門職と保健医療分野の研究者を育成すべく教育・研究に励んでいます。本学科は、看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の5専攻を有する全国でも数少ない医学部保健学科で、800名超の学部生、150名程の大学院生が在籍しています。

少子高齢化の進展の中、近年、我が国の医療現場の変貌には大きなものがあります。病気の予防医療や、移植、再生、遺伝子治療などの高度先進医療への対応とともに、緩和ケアや終末期医療までを見据えた患者・家族の生活の質(QOL)を重視する包括的な保健医療が求められています。そのなかで、患者のみならず家族も含めて生活や健康回復を支援する看護職、高度化する画像診断・放射線治療業務を担う診療放射線技師、専門化する各種臨床検査業務を担う臨床検査技師、障害や疾病を持つ人々の機能回復を支援する理学療法士や作業療法士など、様々な医療職がそれぞれの高い専門性を発揮して、医療の質の向上を目指すチーム医療・包括医療の必要性が増してきています。本学科では、研究・教育を通して、高度な専門知識、幅広い視野、高い倫理観を兼ね備えた、現代保健医療分野でのリーダーとなり、国内外の幅広い分野で活躍する人材を育成するとともに、次世代保健医療の発展に貢献する保健医療学の研究・教育を展開し、社会的責務を果たして行きます。

本保健学科は、「総合大学・名古屋大学」として、東山キャンパスでの全学教養教育、大幸キャンパスでの5専攻からなる各専門教員による専門教育、そして鶴舞キャンパスにある医学部附属病院での高度先進医療の教育・実習の機会があります。また本学科独自に韓国・延世大学や中国・上海交通大学などとの国際交流事業を推進しています。卒業生は、国家資格を得て、種々の医療機関や関連企業、教育研究機関、行政機関などにおいてそれぞれ将来を担う中核的人材として活躍しています。

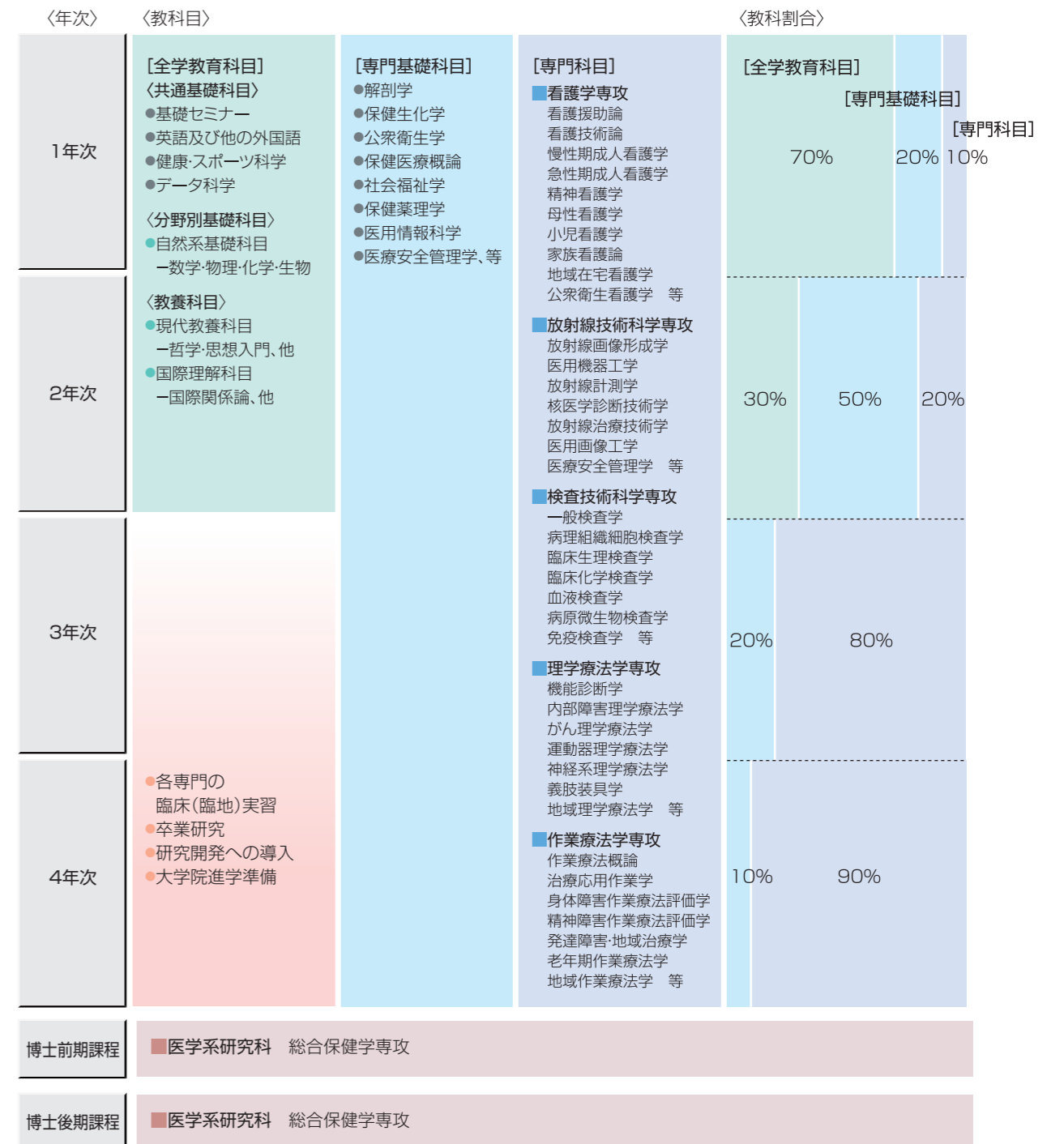
名古屋大学は、自由闊達な学風の下で「研究と教育の創造的な活動を通じて、世界屈指の知の創成と将来を担う勇気ある知識人を育成する」ことを目指しています。また、名古屋大学は平成30年に指定国立大学法人の指定を受け、世界最高水準の教育研究活動を展開することが期待されています。本学科と大学院も一層の研究・教育の充実を図っていきます。名古屋大学医学部保健学科では幅広い分野で活躍する意欲をもった熱意ある学生の入学を歓迎します。

## 教育研究組織



※教員は、大学院医学系研究科に所属し、医学部保健学科の教育を実施します。

## 教育課程



## 看護学専攻

## Department of Nursing

看護学専攻では、①人間の尊厳を基盤においた全人的看護を実践する看護専門職者を育成し、人々の健康に貢献すること、②将来の教育者・研究者としての資質を育成し、看護学の発展に寄与すること、を目指しています。

卒業時には看護師、保健師（選抜制）の国家試験の受験資格が得られます。

看護学専攻では、「人間は、誰もが尊厳をもち自己実現を常に目指している包括的存在であり、それぞれが個人の望む健康レベルへ到達する権利をもつ。看護専門職は、人々のあらゆるニーズに対応するとともに、健康増進を積極的に促し、疾病の予防・管理・健康維持をサポートしなければならない。（後略）」という基本理念に基づき、4年間の教育の中で看護職者としてのアイデンティティを形成し、将来の指導的高度看護専門職者として、また、多様化する保健医療の要請に応える新しい看護学の創造に取り組む研究・教育者としての基礎的能力を養うことを目的としています。

看護学専攻は4領域で構成され、①基礎看護学領域では、人間の理解と看護実践の基本技術、看護の概念、看護過程、フィジカルアセスメント、コミュニケーション技法、看護援助および看護管理について教育・研究します。②臨床看護学領域では、成人期の心身の健康障害を持つ人に対して、急性期・回復期、慢性期、終末期の特徴をふまえて、その人にあった援助方法を考えられるように教育・研究します。③発達看護学領域では、子どもと家族がより健やかであるための子どもと家族中心の看護について教育・研究します。また、女性の一生を通しての健康管理と妊娠・分娩期を中心とした周産期の援助について教育・研究します。④地域・在宅・老年看護学領域では、家庭と地域の健康維持、増進を図り、在宅で療養する人々への援助、また地域の保健医療、福祉システムとのつながりについて教育・研究します。

延世大学(韓国)、上海交通大学(中国)、シンガポール大学(シンガポール)との短期交換留学による国際交流を行っています。



◀ 留学生との交流(実習)



◀ 韓国延世大学  
ウォンジュ校にて



看護学専攻では、「人間・環境・健康・看護」について学習することによって、  
看護を学問として追求し、将来の指導的看護専門職者および教育・研究者の 育成を目指します。

## 放射線技術科学専攻

## Department of Radiological Technology

目覚ましく進展する現代医学の中で、画像診断、放射線治療など、放射線技術学の役割もますます高度で重要なものとなっています。医用画像のデジタル化に対応した人材の育成も求められています。本専攻では、急速に進歩する画像診断・放射線治療の現状に対応できる診療放射線技師を育成するとともに、専門領域の教育・研究者の育成を目指しています。放射線技術学について、次のような人材を育成することが本専攻の教育目標です。

- 1) 専門知識と判断力及び豊かな感性と人間性を有する人材
- 2) 他の医療職種との領域を関連的に把握し、チーム医療の一員として活躍できる人材
- 3) 教育・指導のために、幅広い教養と知識をもつ人材
- 4) 研究・開発する資質を持つ人材
- 5) 国際的な対応及び活躍ができる資質を持つ人材

基礎放射線技術学では、医療の対象となる人体の構造・機能、健康障害児の体の反応、医療と社会の関係、医用画像と人体構造との対応、放射線等の原理・測定法、放射線の人体影響、医療の場で使われている機器の原理・構造、医用機器の電子制御、医用情報のコンピュータ解析方法等、放射線技術を医学・医療に応用する上で基礎となる事項について教育・研究を行っています。

医用放射線技術学では、放射線の医学・医療への主な応用分野である画像診断（放射線による画像の形成と画像の評価・解析と画像処理技術を含む）、核医学診断及び放射線治療に対応する技術と、放射線を管理し、放射線による障害を最小限に防ぐ方法等について教育・研究を行っています。

電子技術の進歩に伴い最新の機器が開発され、医療において画像診断は重要な位置を占めています。X線撮影、X線CT、MRI、超音波、ラジオアイソトープを用いた核医学機器に加え、これらを組合わせた機器も開発されています。診療放射線技師は、このような最新の画像診断装置を駆使し、医療における諸検査を行うとともに、放射線機器等の管理や被曝線量の管理を行います。また、高エネルギー加速器を用いた放射線治療の分野でも活躍しています。



急速に進歩する画像診断・放射線治療の現状に対応できる診療放射線技師を養成するとともに、専門領域の教育・研究者の育成を目指しています。

## 検査技術科学専攻

Department of **Medical Technology**

現代の医学・医療は病気の治療から病気の予防へ、さらにはより積極的な健康作りに向かっております。このような中、健康状態の把握や疾病の早期発見、さらには将来の疾病予測に関わっている臨床検査は、ますますその重要性を増してきています。

検査技術科学専攻では、医療人として不可欠な倫理観に裏付けられた豊かな人間性を備え、かつ高度に専門化した医療に対応できる基礎力と応用力を備え、科学的根拠をもとにチーム医療を推進する臨床検査技師、さらに検査技術科学を学問として追究する教育・研究者を育成することを目指しています。

本専攻は、病気の有無にかかわらず身体の状態を把握することを目的とします。そのために遺伝子・タンパク質などの分子レベルでの生体の理解から、肺や心臓、肝臓、脳など臓器単位での組織・生理機能の把握、また、内分泌や凝固・線溶といった全身におよぶシステムについて学び、総合的に生命体としてのヒトを理解することを目的とします。さらに、生命の恒常性を維持する上で問題となる微生物や癌、恒常性維持の破綻を意味する病気について身体の状態を把握することを目的とします。学生は東山キャンパスでの全学教育と大幸キャンパスでの専門教育を通じて医療人としての豊かな教養・人格を身につけるとともに、これらの学問に対する深い知識と技術を修得します。さらに最終学年の4年時には鶴舞キャンパスにおいて、医療の実践の場である名古屋大学医学部附属病院で臨地実習を行い、実地医療に携わる医療技術者の姿勢を学びます。

## ●検査技術科学で何を学ぶの？

身体の状態を把握するための臨床検査全般に関する学問領域です。現在の医療において、臨床検査は病気の診断・治療・予防に必要なデータを提供しております。具体的には生体成分の質的、量的変動を捉える化学検査、血液中の赤血球や白血球の形態異常などを捉える血液検査、感染性の病気の原因を知るために細菌、ウイルスを同定する微生物検査、細胞や組織の形態的变化を捉える病理検査、生体の活動を直接捉える生理検査や画像検査、輸血・臓器移植領域で不可欠な免疫学的検査などがあり、これら検査法の開発・応用や病態との関連を解析する研究を行います。



医療人としての豊かな人間性や感性を備えた臨床検査技師  
および検査技術科学関連領域の教育・研究者を育成します。

理学療法学専攻

Department of Physical Therapy

理学療法士はリハビリテーション医療の最前線で、疾病や障害を持った人々が質の高い生活を送るために運動機能や生活機能の改善を支援する専門医療職です。

本学科の理学療法学専攻は、高度専門教育・研究機関として学部のみでなく大学院博士前期ならびに後期課程を有しています。専攻の教育もそれらを視野に入れ、以下のような人材を育成することを目標としています。

- 1) 人の尊厳を考えることができる。
- 2) 医学的知識や心理・社会学的知識を機能と障害の観点から統合し、身体に生じた障害の回復ならびに予防に向けた取り組みを理解することができる。
- 3) 病態に対応した理学療法を、リハビリテーションの理念に基づいたチーム医療として実践することができる。
- 4) 理学療法の科学性を基礎ならびに応用研究の枠組みを用いて追求し、医療や保健に貢献できる理学療法の基盤を構築することができる。
- 5) 教育・研究者としての教養と知識を有し、次代の指導的役割を担うことができる。
- 6) 学際領域における共同研究を積極的に推進し、医療のみでなく保健・福祉全般に貢献することができる。

●こんな学生を求めています!

本専攻には基礎ならびに臨床に精通した教員がおり、各教員は高いレベルで最新の知識・情報・技術を学生に提供できるよう努力しています。とくに本専攻の研究は、理学療学分野では先端を走っており、科学的実証をもとに経験的治療から理論的治療への転換・展開を目指しています。理学療法学をさらに発展させる意気込みのある学生を期待しています。



理学療法の科学性を追求し、リハビリテーション医療の最前線に立つ心豊かな理学療法士及び教育・研究者を育成します。

## 作業療法学専攻

## Department of Occupational Therapy

心や体に病気や障害を負ったとき、それまで何不自由無く過ごしてきた日常生活にも大きな困難や制限が生じることがあります。作業療法とは、作業活動を通して障害を軽減したり周囲の環境を調整することによって、心や体に障害を持った方々が社会の中でその人らしい生活を送るための支援と援助、治療を行うことです。作業活動とは、食事や衣服の着替えなど日常生活で行う動作や仕事、勉強、遊び・レジャーなど、私たちの生活全般に関わる様々な活動のことです。

少子高齢化社会を迎え、医療や福祉をとりまく状況には解決しなくてはならない多くの問題があります。医療の高度化と専門化が進む中で、作業療法が扱う内容は益々複雑となると同時に多様化しています。作業療法士には、病院や施設での診療だけでなく、障害を持った方々の居宅や地域社会において、効果的で質の高い支援を行うことが求められています。

作業療法学専攻では、幅広い教養知識に加え、作業療法に必要な専門知識と技術に関する教育を行います。大学4年間の勉強と生活を通して、豊かな人間性と幅広い知識に根ざした作業療法学を身に着けることを目標としています。また、チーム医療が求められる臨床において、高い倫理性と多職種との協調性を兼ね備え、リーダーシップを発揮できる作業療法士の養成を目指しています。それと同時に、研究と開発を通して、障害を科学的に分析・評価する能力と医療技術の情報化に対応し国際的活躍ができる能力を育て、かつ作業療法学の探求と発展に貢献できる人材の育成を目指しています。

作業療法学を学び、作業療法士として広く社会に貢献し、明日の医療を切り開く活躍をしてみませんか。



障害を持った方々の立場に立つリハビリテーションの役割を担い、  
地域生活に根ざした人間性豊かな作業療法士及び教育・研究者を育成します。



# Campus Life



## 医学部サークル紹介



混声合唱団

医学部保健学科は1997年10月付けで前身の医療技術短期大学部を改組し、医学部に設置された新しい学科です。医療技術教育では百年余の歴史と伝統を有しています。

名古屋大学の持つ自由で闊達な校風の下、大学生活においては学術活動は勿論のこと、放課後や空き時間で有意義な時間を過ごすことは、実り多いCampus Lifeを創るためには欠かせないことです。



テニス部

課外活動を通しての自主的な活動、とりわけサークル活動は学生の自主性、協調性を養うとともに、集団生活に必然的に伴う責任と義務についての自覚を促し、これを通して人間形成にも資するという効果が期待されていると言われております。

東山キャンパスにある約100の全学サークル以外にも、鶴舞・大幸キャンパスで活動する医学部サークルが多数あります。その一部を紹介いたします。

サークル活動を通じた多くの学生や社会との人的交流は、きっと学生生活を送る上でもかけがえない財産となるでしょう。

あなたの探求心とチャレンジ精神をサークル活動にも生かし、より充実した有意義な大学生活を送りましょう。



弓道部



空手部



(学生支援団体) おうちプロジェクト



PALETAS (名大病院での学習ボランティア)



テニス部



弓道部



剣道部

## 募集要項

### I 保健学科が期待する入学者の資質

医学とともに保健・医療を支える医療技術科学は、健康の維持・推進、疾病の予防・診断・治療、患者への援助を通してADL(日常生活活動)やQOL(生命・生活の質)の向上、疾病からの速やかな回復等さまざまな局面で人類社会の福祉に貢献する科学です。この医療技術科学を研究・教授し、優れた医療技術者(実践者、教育者、研究者)を育成することが保健学科の務めです。したがって、入学者が次のような資質を有することを期待します。

- (1) 生命への畏敬の念、弱者への思いやり
- (2) 多様な価値観を受け入れる寛容さ
- (3) ボランティア精神とフロンティア精神並びに不撓の精神
- (4) 科学的探求心と積極的意欲並びに行動力
- (5) 穏やかな情緒と協調性

### II 高等学校で勉強上、留意してほしい事柄

医療技術科学の対象が人間であることから、人類の活動の所産である人文・社会・自然科学の全般にわたって調和のとれた勉学が必要であることは当然ですが、加えて、コミュニケーションに必要な正しい国語や英語の基礎学力が望まれます。そのために、大学入学共通テストや個別学力検査で一定レベル以上の学力を要求するのです。また、この学力レベルに達していないと、全学教育科目(教養科目)の必要単位を修得することが難しくなります。頑張ってください。

### III 保健学科が実施する入学試験(詳細は入学者選抜要項及び募集要項を参照)

- 学校推薦型選抜: 大学入学共通テストの結果と推薦書、調査書、志願理由書等を参考に書類選考及び面接により選抜
- 前期日程: 大学入学共通テストの結果と個別学力検査(数・理・外・国)により選抜



# 卒業後の進路

## 卒業後に取得可能な国家試験受験資格

保健学科では、卒業時に下記の国家資格の受験資格を取得することができます。

看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻
看護師 保健師※1	診療放射線技師 (エックス線作業主任者、 ガンマ線透過写真撮影 作業主任者)※2 (放射線取扱主任者)※3	臨床検査技師	理学療法士	作業療法士

- ※1 保健師は、2年次に実施する選抜試験に合格し、所定の科目を修めることで受験資格を取得できます。
- ※2 診療放射線技師免許を取得すると試験が免除されます。
- ※3 在学中にチャレンジする学生が増えています。

## 令和4年度 卒業生進路

(単位:人)

	大学院等進学	医療従事職	一般企業・その他	計
看護学専攻	17	61	1	79
放射線技術科学専攻	8	27	3	38
検査技術科学専攻	21	12	5	38
理学療法学専攻	8	7	3	18
作業療法学専攻	5	15	2	22

## 卒業生の主な就職先(医療従事職)

看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻
名大病院	名大病院	名大病院	名大病院	名大病院
大学病院	大学病院	大学病院	大学病院	大学病院*
国公立病院	国公立病院	国公立病院	国公立病院	国公立病院*
都道府県(医療職)	民間企業	検診センター	リハビリテーション病院・施設	リハビリテーション病院・施設*
市町村(医療職)		民間企業		

\*精神科を含む

# 名古屋大学キャンパス案内図

## 大幸キャンパス

医学部保健学科の学部棟があるキャンパスで、2年次後期からの学生生活の中心の場になります。保健学科専門系科目をこのキャンパスで受講します。



移動時間  
30分  
(地下鉄・JR使用)



移動時間  
20分  
(地下鉄使用)



## 鶴舞キャンパス

医学部医学科、名古屋大学医学部附属病院があり、主に3、4年生の臨床(臨地)実習などで使用します。



## 東山キャンパス

名古屋大学の中心キャンパスで、医学部以外の学部が集まっており、全学部活動もこのキャンパスで主に活動しています。1、2年次の間にこのキャンパスで全学教育科目を受講し、2年次前期までの主な学生生活の場になります。